

表1 古墳時代中期の須恵器編年

年代	大別	細別	陶邑編年 (田辺 1981 など)
400		初頭	TG232
		前葉	TK73
450	中期	中葉	TK216 ON46
		後葉	TK208
		末葉	TK23 ・47

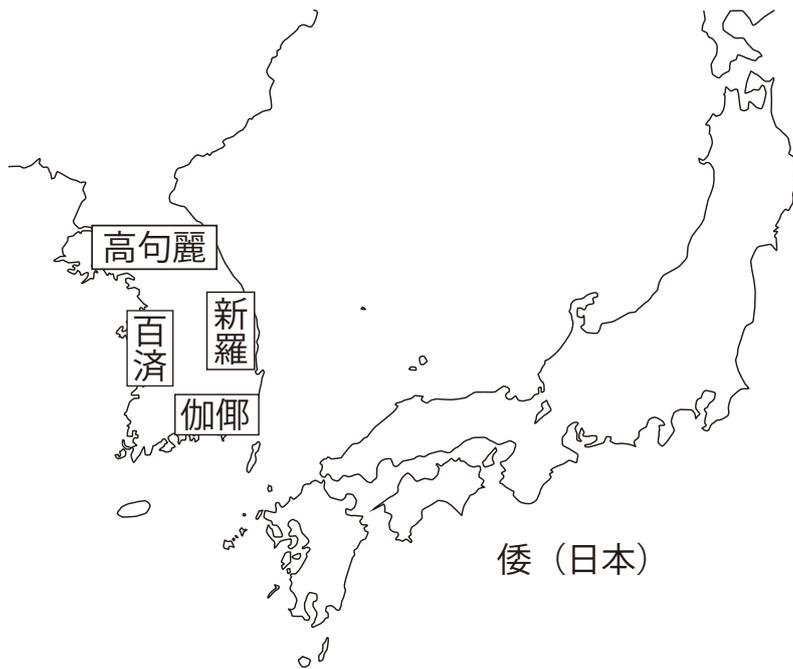


図1 古墳時代中期における日本と朝鮮半島

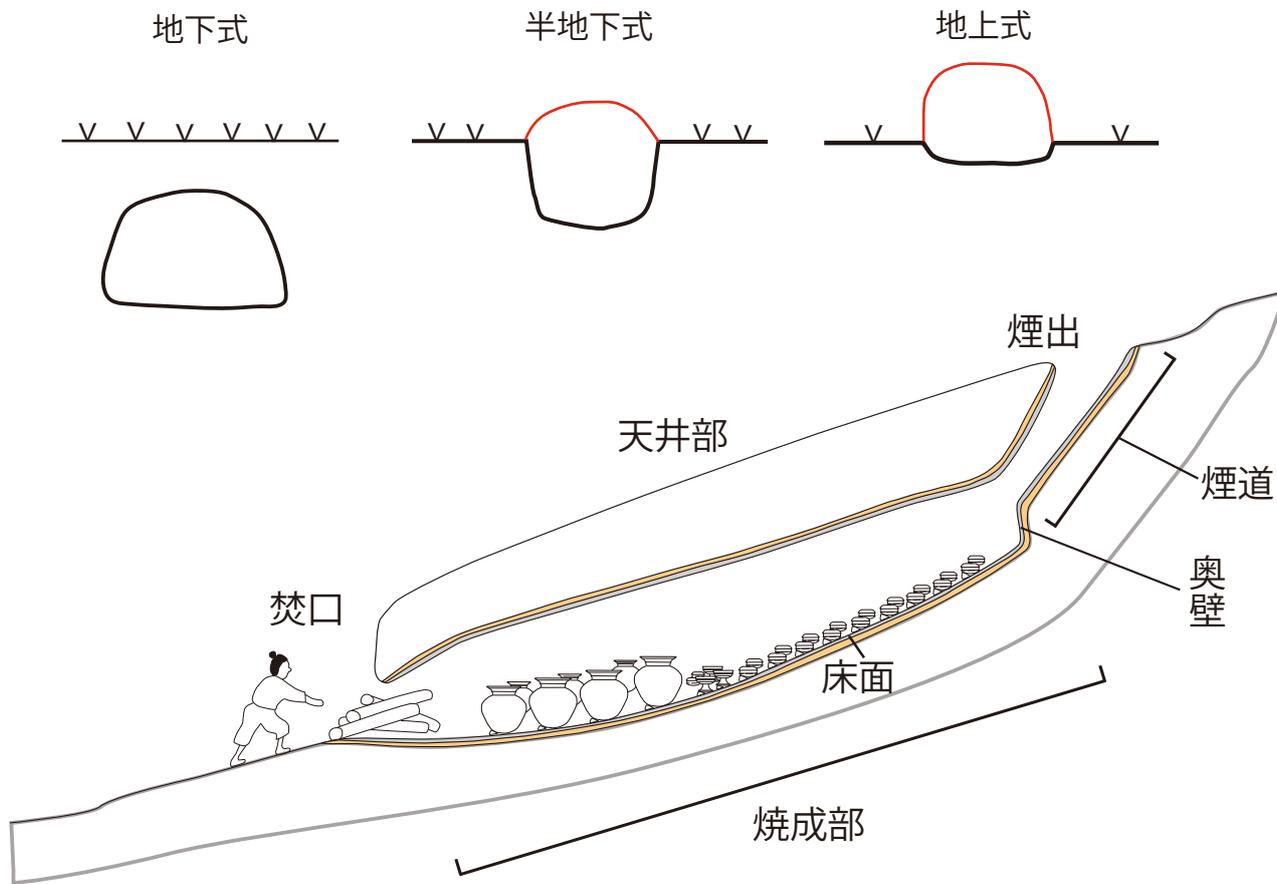


図2 窖窯の種類と窯の部位名称一覧

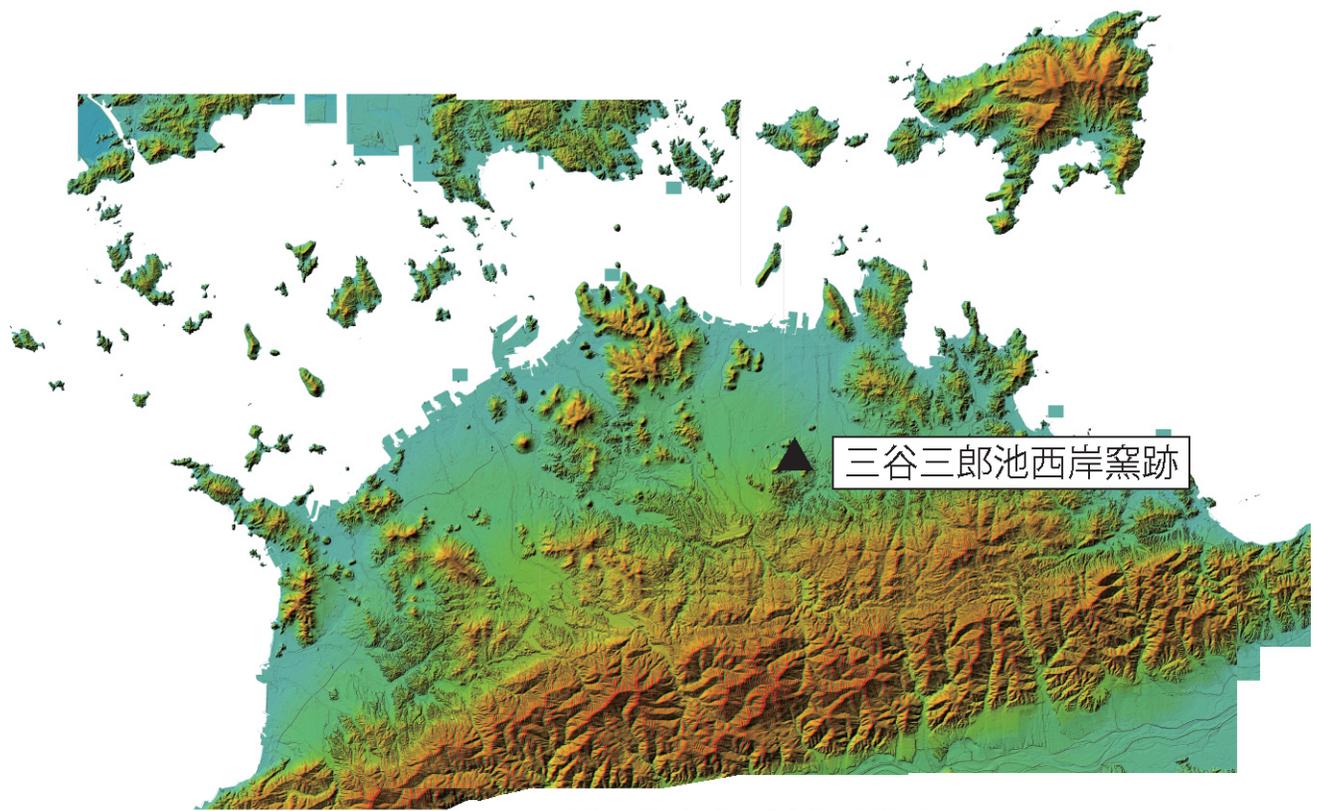


図3 三谷三郎池西岸窯跡の位置

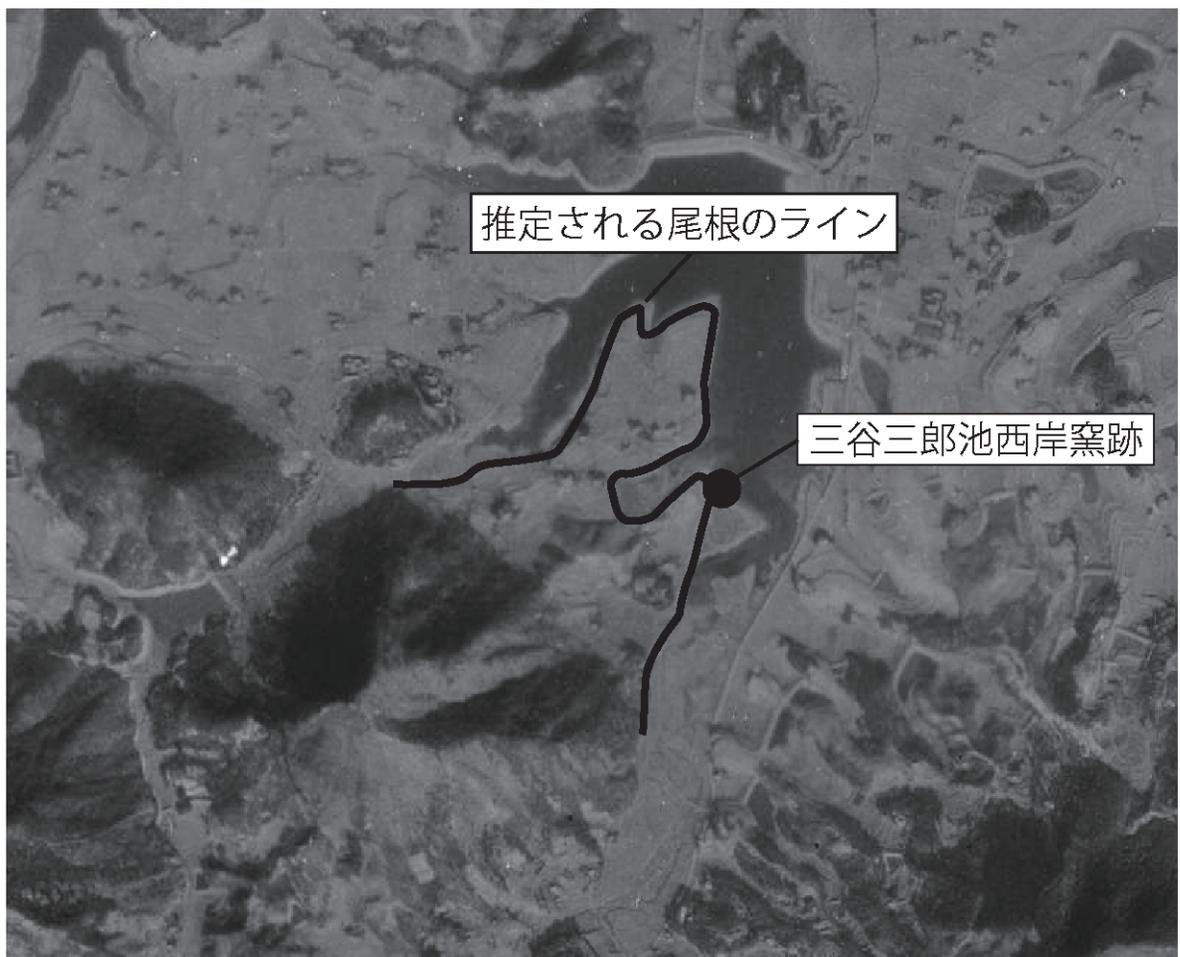


図4 三谷三郎池西岸窯跡の周辺写真（国土地理院空中写真 USA-M746-36）を使用

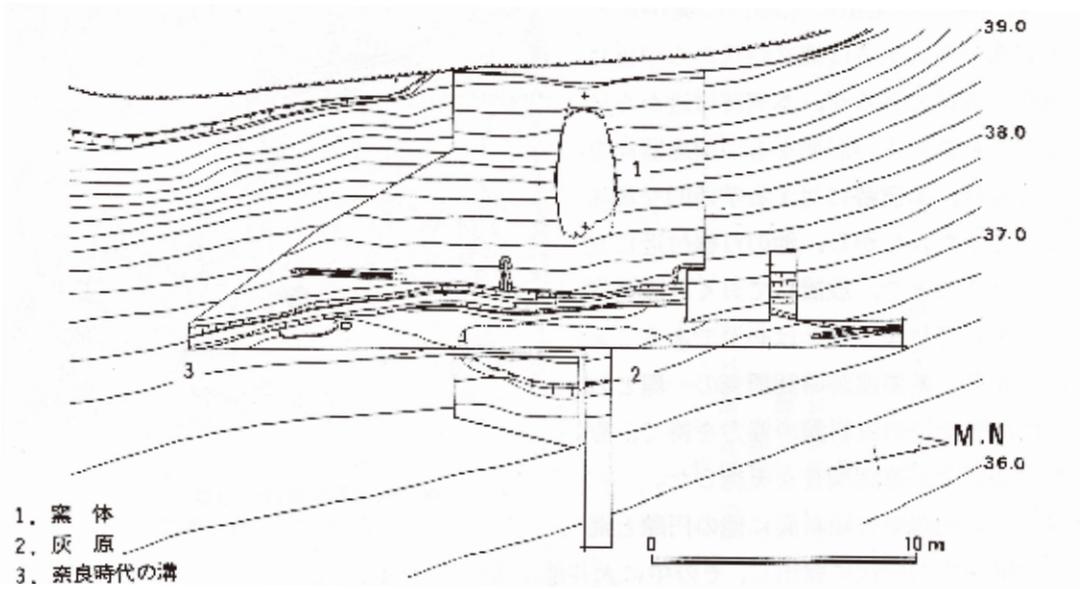


図5 調査地周辺の測量図と遺構配置図 (S=1/300) (松本ほか 1984)

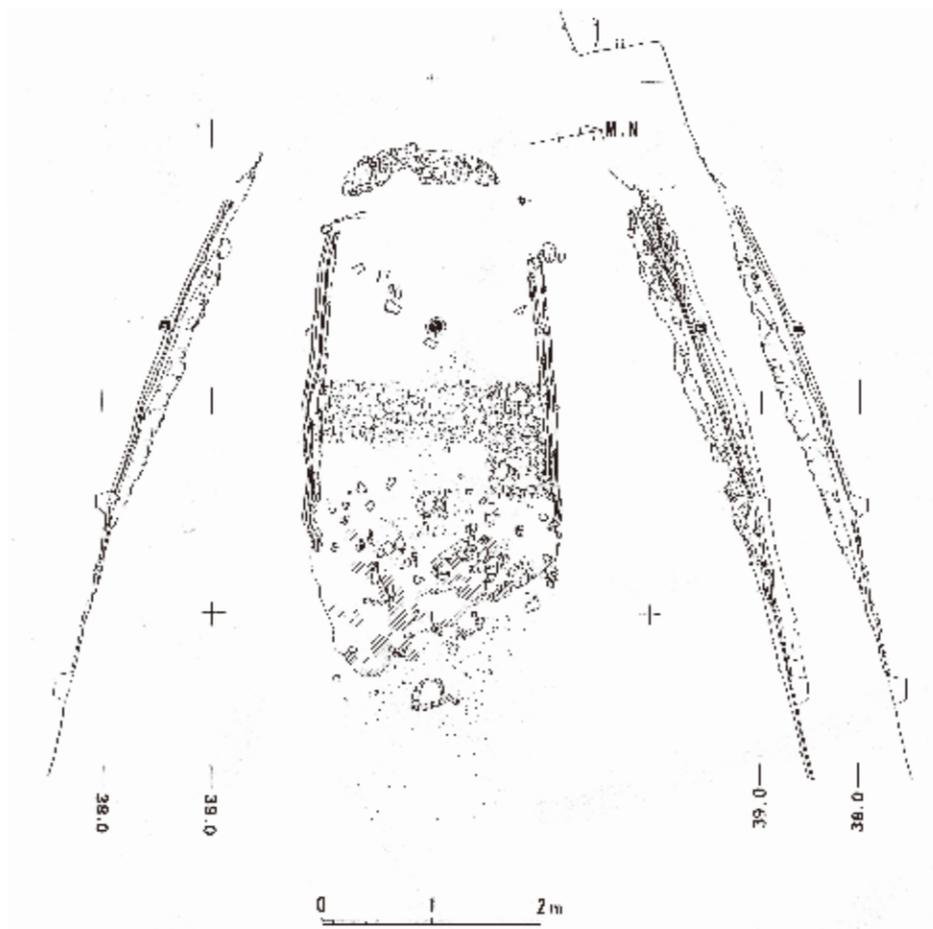


図6 三谷三郎池西岸窯跡の平・断面図 (S=1/150) (松本ほか 1984)



図7 三谷三郎池西岸窯跡の調査時と現況写真  
(上：調査時, 松本ほか 1984、左下・右下：現況と背後の尾根との位置関係, 筆者撮影)

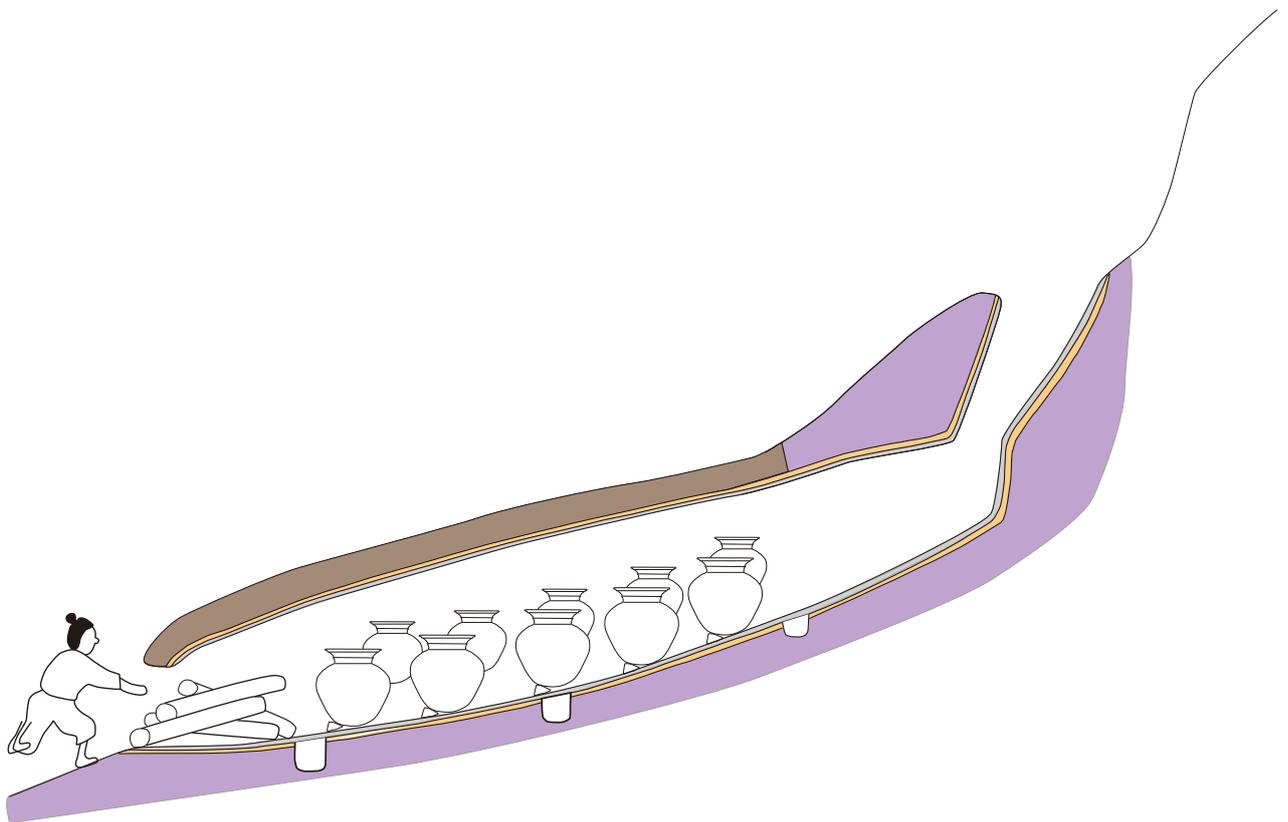


図8 三谷三郎池西岸窯跡の復元図

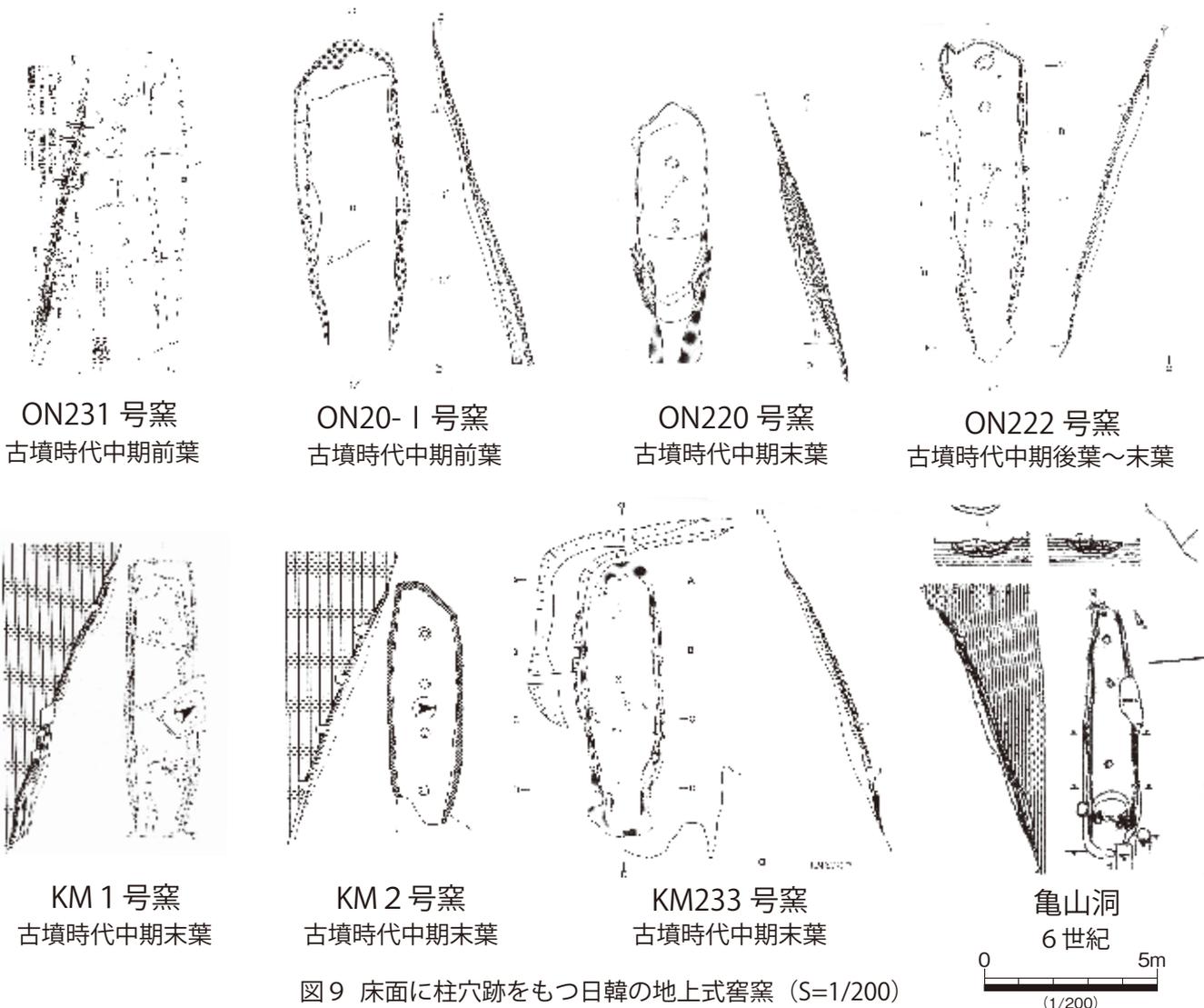


図9 床面に柱穴跡をもつ日韓の地上式窯 (S=1/200)

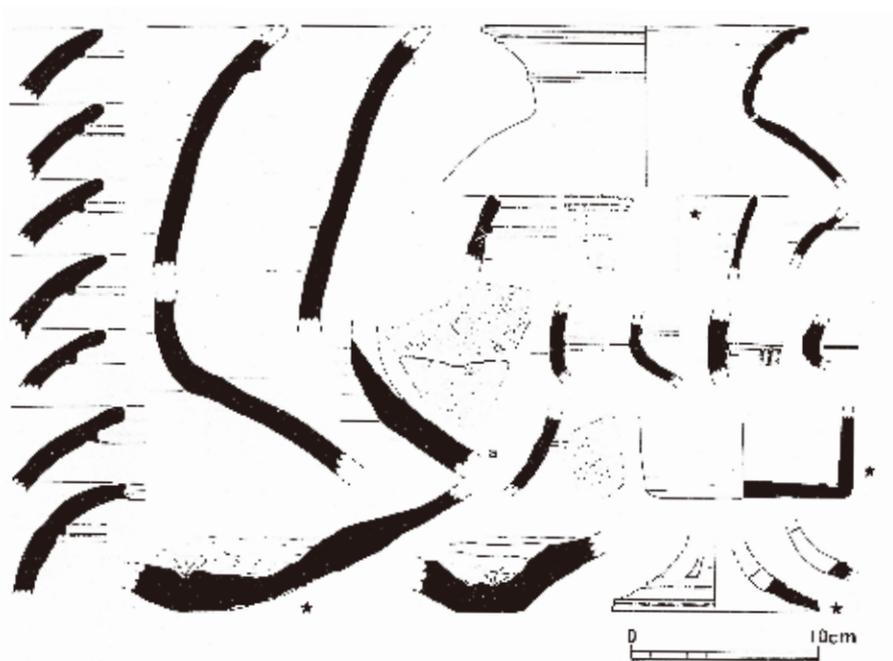


図10 三谷三郎池西岸窯跡で出土した須恵器 (S=1/4) (松本ほか 1984)

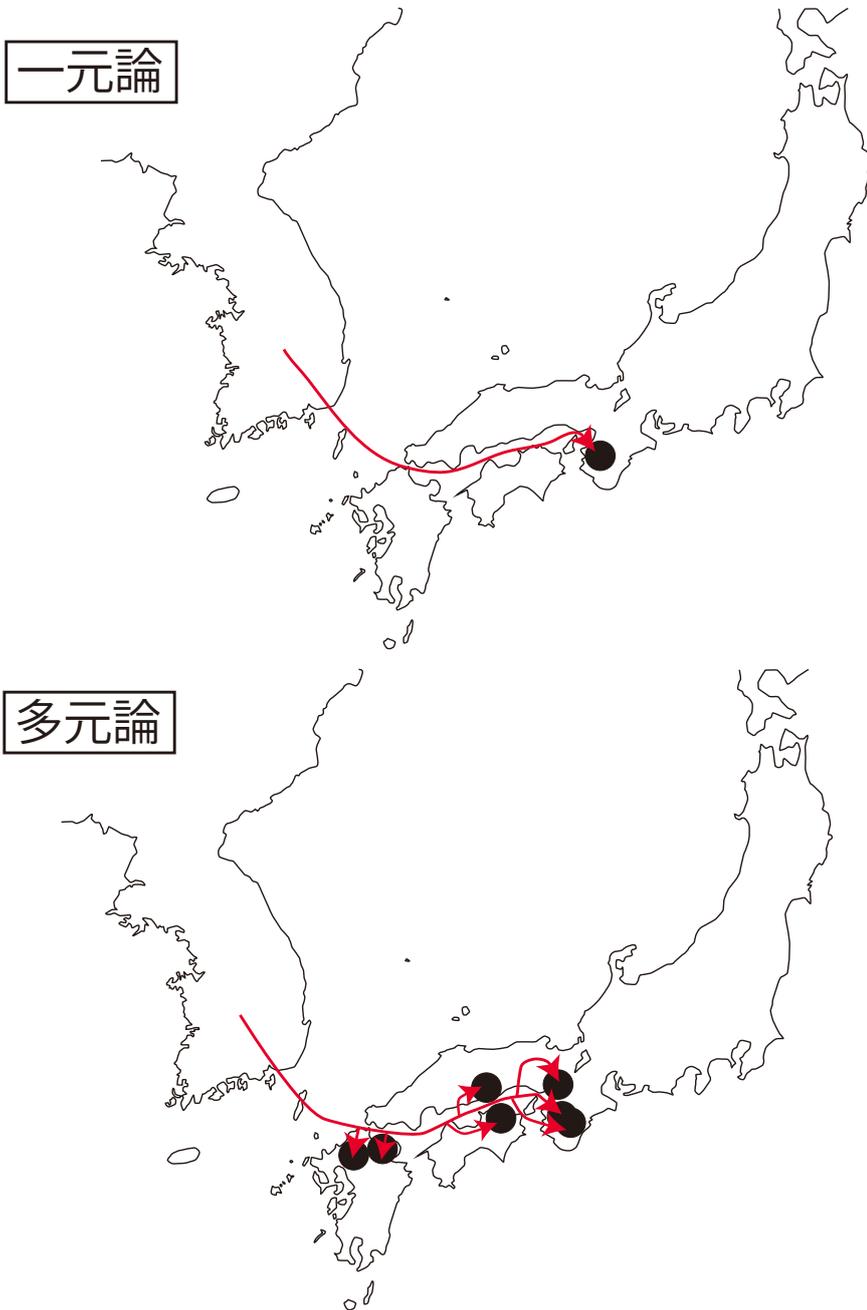


図 11 最古段階の生産にかんする一元論と多元論の概念図

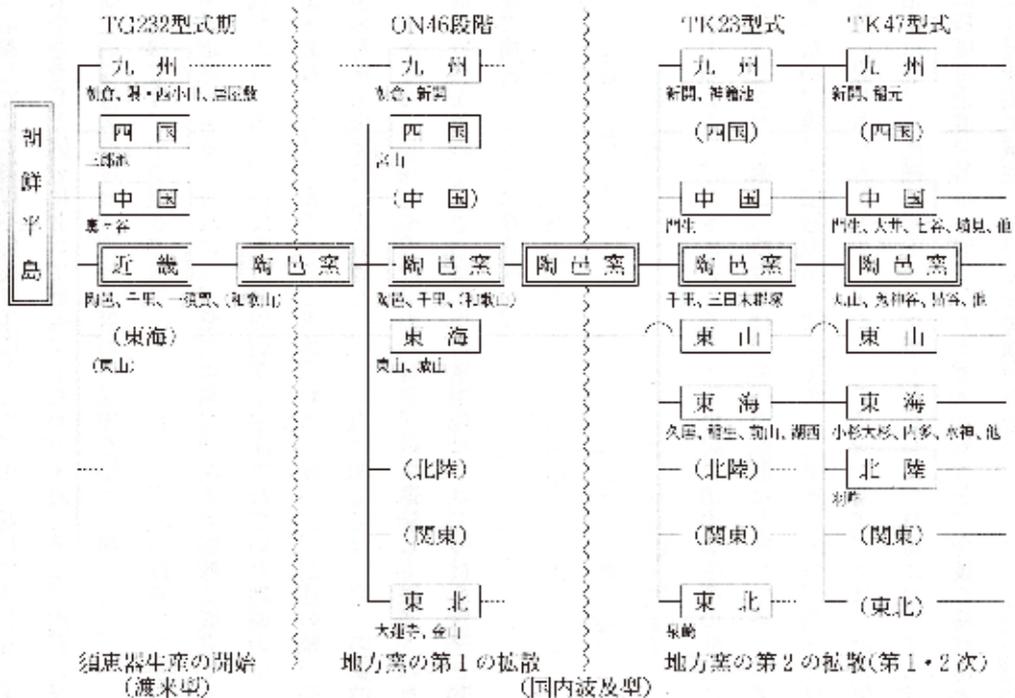


図 12 古墳時代中期の須恵器生産の系譜 (植野 1998)